

ボランティア体験プログラム

あやべ里山再生プロジェクト

は そう じ

～ 白道路の峠シリーズ～

竹やぶに閉ざされた

思い出の「中村峠」古道を復活させ

山越えの開通記念ウォークで

となり村をめざそう

～ 村の特産・伝統の楮栽培の苗も作ろう～

参加者募集要項

ボランティア体験プログラム「あやべ里山活性化プロジェクト」は、京都府北部に位置する綾部市を舞台に、里山（人里に近く、人と自然の共生が図られた山林）の再生と地域の活性化に取り組む活動です。11月は6月につづき、自然ひろがる綾部市白道路（はそうじ）地区で、となり村に通じる峠道づくりや和紙の原料植物の栽培、村人との交流を通じて、地域再生に取り組みましょう。

白道路地区は綾部市中西部に位置し、のびやかな農地に包まれた牧歌的な村です。今年度6月のあやべ里山再生プロジェクトでは「神浪山麓ふるさと会」メンバーと共に、村のシンボル「神浪山」（こうなみやま）をメインテーマとして、古くなった道しるべの復旧や道そうじを行い、古くなっていた登山道の再生をなしとげました。登山道半ばの展望台からの展望もひらけ、神浪山は誰でも登りやすい山に戻っています。

この神浪山を軸として、白道路には2つの重要な峠があります。ひとつは神浪山の西側にある「遠坂峠」（とおさかとうげ）で、6月のプロジェクトでは遠坂峠の深い峠道を歩き、石仏堂跡など峠の歴史を知るとともに、炭焼窯の跡や竹・棕櫚など生活資源となる植物を通じて、人が里山から恵みを得て生きていた時代の証しを学びました。

もうひとつが今回のプロジェクトのターゲット「中村峠」です。中村峠は白道路の中心部である中村エリアから神浪山の中腹をたどり、神浪山の東側を抜けて綾部市吉美(きみ)地区の星原(ほしばら)町・有岡(ありおか)町に通じる峠で、遠坂峠とともに、神浪山をとりまいて点在する白道路・星原・有岡の集落を蜘蛛の巣状の縦横な峠道で結びつける役割を果たしていました。峠道沿いには「右 向田 白道路 左 物部」と記された古い石の道しるべもあり、村人の記憶に「着物を着て下駄を履いて越えることができた」と語られるほど使い込まれたきれいな道であったと思われます。

しかし今は人工林の植林にともない日陰となり土質の変わった斜面で古道の路肩が崩れたり、繁殖しやすい竹に覆われたりしており、かろうじて白道路側の登り口の道が「中村峠」という通称で親しまれる以外、峠の頂点そのものの前後の道は歩きにくいものとなっています。遠坂峠を経て蜘蛛の巣状に神浪山を周遊する白道路の里山歩きモデルコースをしあげるうえで、竹や倒木に覆われたこの中村峠の頂点付近が、最後の難関となっていました。

ただし6月の下見歩きの際に若干の切り開き作業も行い、中村峠の再開通は不可能なものではなくなっています。草刈機やチェーンソーなど危険を伴う作業は地元の方にお願ひし、私たちはノコギリや手作業で、細断された竹や倒木を片付ける作業を進めましょう。根気よく続ければ、丁寧に作道された古道の面影があらわれ、見違えるように歩ける中村峠の古道を取り戻すことができるでしょう。また、6月の作業では道沿いの随所に一時的な仮の道しるべを立てました。仮の道しるべを正式な道しるべに立て替える作業も行います。

最終日は開通記念に、山を越えて向こうの星原の村まで歩きます。6月や今回の作業で設置した道しるべを道沿いに見ながら、白道路から中村峠の道を歩き、山の向こう側、星原の村に降りてみましょう。そして山越えの結婚や農作業をつうじて村々が里山を通じてつながりあっていた時代に思いを寄せましょう。

なお今回のプロジェクトでは白道路の特産である楮の栽培のお手伝いも行います。楮は黒谷和紙の原料植物ですが、白道路では原料加工の維持をはかるとともに、楮の新しい利用法も研究するなど、多様な活用法を模索しておられます。今回は楮の根を掘り、一定の長さに切って、仮植えする作業を行います。そこから新しい芽が出て、楮畑に移植する準備となるのです。将来的には、私たちの手による楮畑ができるかもしれません。

白道路は伸びやかな田園風景が広がる豊かな村ですが、過疎化・高齢化、鳥獣害や里山荒廃といった自然の変化などの波がしのびより、農業技術の継承や世代間のコミュニケーション、人口の維持などの面で潜在的な課題を村人は感じておられます。そんな中、若い学生とともに往う里山の道づくりや地域間交流、若い視点から観たアイデアや意見の交換は、何者にも代え難い元気の源で

あり活性化の機会です。単なる作業でなく、田舎のなりわいを知り、愛着を持つため、村の取り組みや悩みを知り、里山保全、地域活性化の意味について学び、達成感ある仕事を行うことで、消えることのない地域との絆をつくる3日間としましょう。

今回、私たちが活動フィールドとし、守ろうとする里山は人と自然の共存するシンボルになるかもしれません。里山から恵みを得なければ生きていけない時代がまた訪れるかもしれません。再び美しい里山を取り戻し、将来には神浪山や遠坂峠、中村峠を周遊する山道で各地からの旅人や神浪山周辺の村々の住民が触れあい、出会うことの出来る記念ハイキングも開催できることを夢みながら、集中して汗をかいてみませんか。



【申し込み期間】2013年9月10日(火)13:00 ~ 10月18日(金)16:00

【定員】先着15名

募集概要

1. 日程

2013年11月2日(土)~4日(月)2泊3日

2.活動概要

(1)活動場所

京都府綾部市^{はそうじ}白道路地区

(2)活動受け入れ団体

神浪山麓ふるさと会(綾部市白道路地区)

特定非営利活動法人 里山ねっと・あやべ HP : <http://ayabesatoyama.net>

(3)主な活動内容

- ・竹と倒木の片付けにより中村峠付近の峠道を開通させよう
- ・仮の道しるべの場所に正式な道しるべをとりつけよう
- ・山越えでとなり村に向かう峠越えの開通式に参加し、地域間のつながりを学ぼう
- ・里山の継続を可能にする“なりわい”のひとつ、楮栽培のお手伝いをしよう
- ・楽しい里山暮らしのアイデアをつくろう

(4)活動場所のイメージ



緑あふれる中村峠の峠道



中村峠道にある古い道しるべ



竹やぶに覆われた古道を開通させよう



白道路から隣の地区「星原」に降りてくる
山越えの道



前回立てた仮の道しるべ



村の伝統産業「楮」(和紙の原料)

3. スケジュール

11月2日(土)

時刻	場所	内容	備考
11:52	JR 綾部駅	学生到着	昼食持参
12:00	JR 綾部駅	白道路に移動	
12:30	白道路公会堂	白道路到着	
13:00	公会堂	白道路の概要・里山の仕事の説明	ミッションの確認
13:30	町内の畑	楮の苗の収穫と植え付け・保存	
16:00		作業終了	
16:30	公会堂	夕食作り	
18:00	公会堂	自給自足的夕食・交流会	
		神浪山や峠の記憶・言い伝えの聞き取り	
21:00	白道路の民家	民家に分宿 お風呂・就寝	

11月3日(日)

時刻	場所	内容	備考
07:00	白道路の民家	起床・朝食	
08:00	白道路の民家	昼食弁当づくり	
08:30	上の宮神社	集合、作業内容と分担、道具類の確認	
09:00	神浪山登山道	倒木処理、道しるべ設置	中村峠
12:00	神浪山頂	昼食弁当	
13:00	遠坂峠	倒木処理、道しるべ設置	
15:30	公会堂	イベントのミーティングと準備	
16:30	公会堂	夕食作り	
18:00	公会堂	自給自足的夕食・交流会	
21:00	白道路の民家	民家に分宿 お風呂・就寝	

11月4日(月)

時刻	場所	内容	備考
07:00	白道路の民家	起床・朝食	
08:30	上の宮神社	集合	
09:00	神浪山登山道	神浪山 星原	
12:00	公会堂	参加者と交流昼食会	
14:00	公会堂	楽しい里山暮らしのアイデアの捻出	
15:30	公会堂	綾部駅に移動	
16:07	綾部駅	綾部駅発	17:52 京都駅着

4. 参加費

交通費、宿泊費、ボランティア保険料、現地での活動費用が必要です。

宿泊費 白道路町の民家に分宿(3,000円×2泊) ¥6,000

食費 2日夜、3日朝・昼・夜、4日朝・昼(6食) ¥4,000

現地活動費(道具、備品代)(1,000円×2日) ¥2,000

現地交通費 ¥700程度

ボランティア保険料 京都市社会福祉協議会 ¥300

合計 ¥13,000円

参加費は申込受理の連絡時にお渡しする振込み用紙を使い振込みをしてください。

申込み後は、キャンセルの時期に関らずキャンセル料1,000円が発生します。

上記のほかに、綾部駅までの交通費がかかります。目安:京都駅～綾部駅(片道1280円)

5. 持ち物

第1日の昼食(弁当・パン・飲物など)

雨具(カッパ)

着替え(長袖、長ズボン、多目に)

水筒

ベルト

帽子

寝巻き(ジャージなど)

運動靴(できるだけ底の厚いもの)

タオル、バスタオル

保険証のコピー

洗面具(歯ブラシなど)

筆記用具

6. 集合・解散

(1) 集合・解散時間・場所

集合:11月2日(土)12:00 JR 嵯峨野山陰線「綾部駅」改札口集合

解散:11月4日(月)16:00 JR 嵯峨野山陰線「綾部駅」改札口解散

<行き>
10:07 京都 JR 山陰本線快速「園部」行
(10:14「円町」より乗車可)
10:43 園部 JR 山陰本線普通「福知山」行
11:52 綾部

<帰り>
16:07 綾部 JR 山陰本線普通「園部」行
17:15 園部 JR 山陰本線快速「京都」行
(17:43「円町」にて下車可)
17:52 京都

応募方法

(1)申し込み方法

下記のフォームに必要事項を記入し、

ritsvc@st.ritsumei.ac.jp までお送りください。

【件名】「あやべ里山プロジェクト申し込み」

【申し込みフォーム】

=====

「あやべ里山プロジェクト」に参加申し込みをします。

【学生番号】

【学部・回生】

【氏名・よみがな】

【住所】(ボランティア保険の加入手続きに使用します)

【携帯電話】

【緊急時電話番号】

【学内メールアドレス】

=====

(2)選考について

応募者が定員(15名)を超えた場合、**先着順**で受付をします。

問い合わせ

立命館大学サービスラーニングセンター(担当：白井)
[衣笠]〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 学而館 1 階
TEL:075-465-1952 FAX:075-465-1982
[BKC]〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 セントラルアーク 2 階
TEL : 077-561-5910 FAX : 077-561-5912
E-mail: ritsvc@st.ritsumei.ac.jp
URL: http://www.ritsumei.jp/vc/index_j.html